⑺　リース債務（※２）	(3,151,633,646)	(3,150,664,829)	△968,817
⑻　未払金	(6,100,965,900)	(6,100,965,900)	―

（※１）負債に計上されているものについては、(　) で示しております。
（※２）貸借対照表上、一年超のリース債務は「長期未払金」に、一年以内のリース債務は「未払金」に含まれております。

（注１）金融商品の時価の算定方法
⑴　投資有価証券及び有価証券
これらの時価については、取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。
⑵　破産更生債権等
破産更生債権等については、担保及び保証による回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価額をもって時価としております。
⑶　現金及び預金、並びに⑷　未収附属病院収入
これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。
⑸　国立大学財務・経営センター債務負担金、⑹　長期借入金及び⑺　リース債務
これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入又は、リース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。
⑻　未払金
短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（注２）非上場株式（貸借対照表計上額770,536,262円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「⑴　投資有価証券及び有価証券」には含めておりません。

（資産除去債務に係る注記）
１．資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの
⑴　資産除去債務の概要
アスベスト関連法令に基づき、建物の解体等の作業によるアスベストの除去費用および当該アスベストの処理費用を合理的に見積り、資産除去債務を計上しております。
⑵　当該資産除去債務の金額の算定方法
使用見込期間を法人化に伴う当該固定資産の承継時から298月と見積り、割引率は、2.25％を使用して、資産除去債務の金額を計算しております。
⑶　資産除去債務の総額の期中における増減内容

変　動　の　内　容	当会計年度における総額の増減
前事業年度末残高	68,274,910円
有形固定資産の取得に伴う増加	0円
時の経過による調整額	1,552,126円
当事業年度末残高	69,827,036円

２．貸借対照表に計上しているもの以外の資産除去債務
本学は、放射性同位元素等に関連する法律等に基づき、放射性同位元素等によって固定資産が汚染された場合には、廃棄時に法令上の除去義務を有しておりますが、廃棄までの期間が明確でなく、また、将来の汚染の程度も現時点では不明であることから、資産除去債務を合理的に見積ることができません。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。

（重要な債務負担行為）　（単位：円）

契　約　内　容	主な契約先	翌年度以降支払金額		
		一年内	一年超	合　計
徳島大学（蔵本）基幹・環境整備（排水設備等改修）工事	㈱山内組	47,952,000	0	47,952,000
計		47,952,000	0	47,952,000

国立大学法人鳴門教育大学平成27事業年度財務諸表に関する公告

国立大学法人法（平成15年法律第112号）第35条において準用する独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第38条第３項の規定に基づき、国立大学法人鳴門教育大学平成27事業年度財務諸表について次のとおり公告します。

平成28年10月7日

徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地
国立大学法人鳴門教育大学　学長　山下　一夫

貸　借　対　照　表

（平成28年３月31日現在）　（単位：千円）

資産の部		
Ⅰ　固定資産		
１　有形固定資産		
土地		9,344,834
建物	5,298,489	
減価償却累計額	△ 2,403,891	2,894,597
構築物	892,588	
減価償却累計額	△ 615,178	277,409
機械装置	32,739	
減価償却累計額	△ 16,568	16,170
工具，器具及び備品	1,317,676	
減価償却累計額	△ 987,068	330,608
図書		1,257,067
美術品・収蔵品		4,398
船舶	380	
減価償却累計額	△ 379	0
車両運搬具	27,757	
減価償却累計額	△ 16,817	10,940
有形固定資産合計		14,136,027